

学術情報

○招待講演

日時 平成8年9月27日(金)
 会場 中央校舎1階会議室
 主催 微生物学免疫学
 講師 Nicholas Chiorazzi
 Department of Medicine
 North Shore University Hospital
 テーマ Chronic lymphocytic leukemia B cells
 from analyses of immunoglobulin variable region

雑 報

○編集幹事会

日時 平成8年9月2日(月)午後4時より
 場所 中央校舎1階会議室
 議題 東京女子医科大学雑誌66巻12号査読結果審議, その他

○集会幹事会

日時 平成8年9月24日(火)午後4時より
 場所 中央校舎1階会議室
 議題 第62回総会, 第308回, 第309回, 第310回例会, その他について

○評議員会

日時 平成8年9月18日(水)午後4時より
 場所 中央校舎1階会議室
 次第 庶務報告, 会計報告, 議案①新評議員推薦, ②名誉会員推薦, ③幹事改選, ④総会, ⑤吉岡弥生記念講演について, ⑥その他

○第62回総会

日時 平成8年9月28日(土)午後1時30分より
 場所 弥生記念講堂
 次第

総会

第5回吉岡博人記念総合医学研究奨励金授与式
 第2回 同 受賞グループ研究発表

「血管内皮由来血管収縮因子および拡張因子の病態生理学的意義に関する研究」

第二内科学 教授 出村 博
 脳神経外科学 教授 高倉 公朋
 産婦人科学 教授 武田 佳彦
 薬理学 教授 村木 篁

第二内科学 助教授 成瀬 光栄

特別講演

「視覚生理学研究の今昔」

第一生理学 教授 橋本 葉子

シンポジウム

「心肺の内科」

(司会) 循環器内科学 教授 細田 瑛一

名誉教授 滝沢 敬夫

教育講演

「女性のライフサイクルと精神医学」

精神医学 教授 田村 敦子

編集後記

大学に所属する学会の存在意義は、各種専門学会を「縦糸」とするならば、総合的に広域を見渡すことができる「横糸」のようなものでありましょうか。

本誌は、学位(医学博士)申請の源となる原著論文の掲載が主な役割になっております。従って、投稿論文の多くは、初めて原著論文を執筆する卒後10年未満の研究者によるもので、素材(研究の生データ)の価値を、専門でない読者に分からせる手法が十分ではない場合が少なくありません。

査読者は、担当の論文を丁寧に読み、誤字を訂正し、ポイントを把握して、体裁を整える努力をし、倫理委員会へ回す必要性の有無をチェックし、査読結果をまとめて書き、編集委員会で報告致します。そして、お互いに専門性や経験を生かした討議の上で更に質の高い論文に仕上げるためのアドバイスを付けて投稿者に戻す、そしてまた確認するといった編集作業が行われます。これらは、後に続く研究者を育てるために支援する大変エネルギーの要る仕事です。

筆者は前会長の委嘱で随分長い間、編集幹事を続けましたが、最近は熱心で活力に満ちた若い幹事の方々が増員され、以前と比較してより多くの満足感を覚えるようになりました。今までに何回も頂いた初めての執筆者からの査読者「A先生へ」としての丁寧な査読に対する感謝の手紙を思い出として、この後は若手の幹事と交替させて頂くことに致しました。仲間の幹事の方々には、今まで私に賜ったお力添えに感謝申し上げます。心より御礼申し上げます。そして引き継ぐ新幹事に対して今後のご指導と一層のご鞭撻をお願い致します。最後に、本誌のますますの発展を祈念して。

(1996年9月24日記 竹宮敏子)